

景観計画策定における市民意見に基づいた
届出対象行為・行為規制の留意点に関する研究

大分大学福祉環境工学科建築コース
建築・都市計画研究室4年 寺尾 勇

1 背景と目的

大分県佐伯市では、特徴的な町並みや豊かな自然等の景観により「**街・浦・里**」の3種のエリアに分類されている

しかし、これら特徴的な景観を保全するための**景観計画**、またそれに伴う**景観形成基準**は、現在定められていない

目的



市民と外来者視点での佐伯市の象徴的な景観にどういった**景観構成要素が集中**しているかを特定する

これらの象徴的な景観を景観計画によって整備・保全していくために、**届出対象行為**や、その**行為規制の方針**や市民による景観まちづくりへの**取り組みの提案**を明らかにする

研究方法



外来者、市民を対象とした景観ワークショップを実施

- ① 収集した意見から象徴的な景観をまとめ、これを構成する**景観構成要素**を抽出
- ② 象徴的な景観を保全・維持するための「行為規制」について意見を収集し、景観計画に必要な**届出対象行為**とその**行為規制**の方針

街エリア 城山の風景

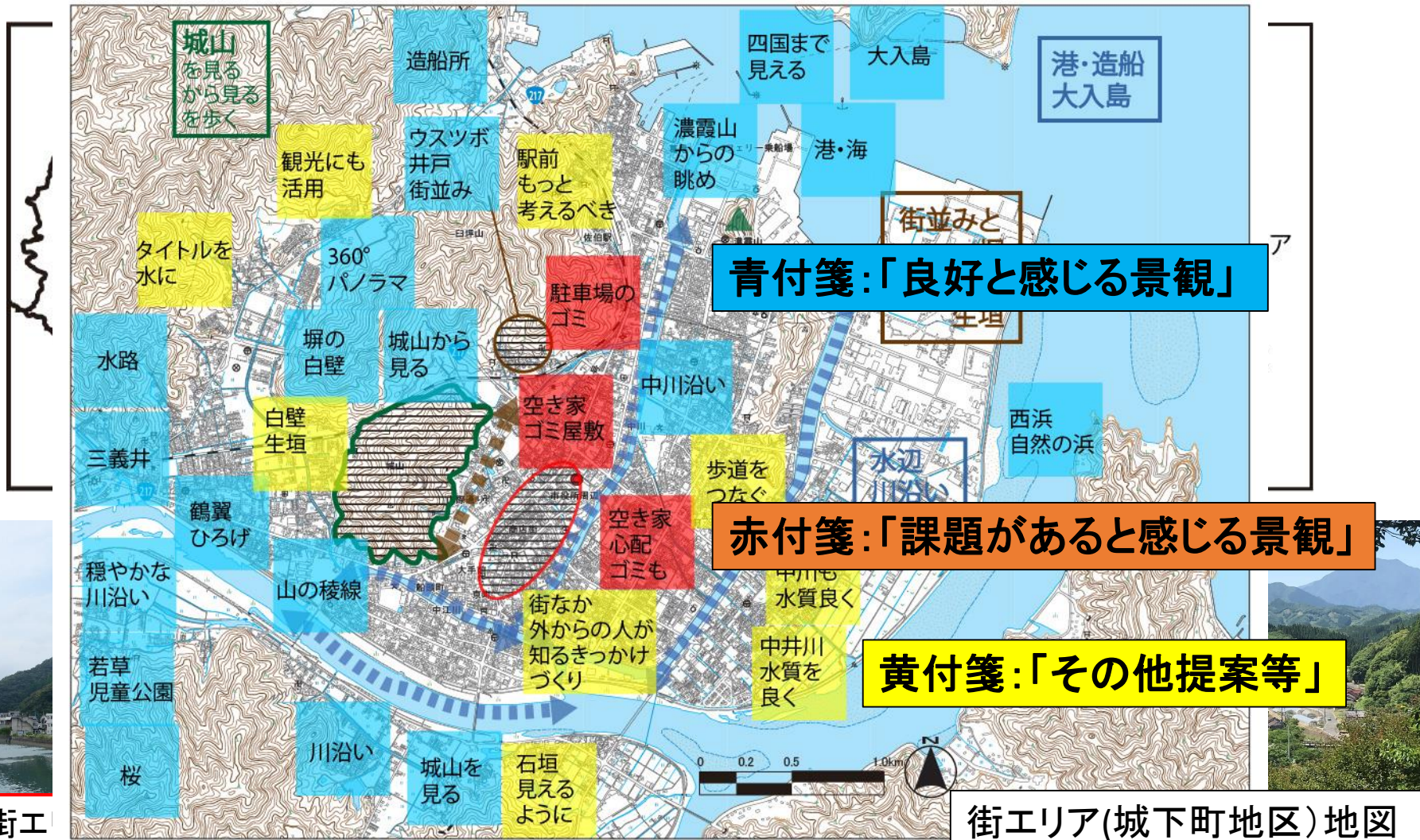
浦エリア 山上から見る集落

里エリア 里山の街並み

2 研究対象地、景観ワークショップ

研究対象地

研究対象地は大分県佐伯市内の**街エリア**（城下町地区）、**浦エリア**（蒲江地区）、**里エリア**（宇目地区）とする



3 外来者・市民視点による景観構成要素の傾向

3地区全体：不動産系景観構成要素

不動産系景観構成要素

街・浦エリア：「街並み」「建造物」
 里エリア：「山岳」「森林」

街・浦エリアでは人工物、里エリアでは自然物で構成される景観が象徴的に捉えられる傾向

動産系景観構成要素

里エリア：「農業」の要素
 浦エリア：「漁業」の要素

里・浦エリアでは生業に関する景観構成要素で構成される景観が象徴的に捉えられる傾向

		城下町	蒲江	宇目	3地区合計	総計(件)			
景観構成要素	不動産系	自然	山岳	3	7	11	21	73	
			森林	8	3	13	24		
			海	4	9	0	13		
			河川	3	0	12	15		
		人工	港	2	9	0	11		110
			街並み	11	11	8	30		
			道路	4	5	2	11		
			建造物	11	14	8	33		
	動産系	工作物	1	4	5	10	21		
		歴史遺物	9	3	3	15			
		生物	0	0	1	1			
		祭事	1	2	0	3			
		観光	1	1	0	2			
		農業	0	0	5	5			
漁業	0	7	0	7					
	林業	0	0	2	2				
	造船業	1	0	0	1				

景観構成要素(不動産、動産)において意見が多く挙げられた項目

地区	景観	分地区	景観	分類	意見	必須	選択
----	----	-----	----	----	----	----	----

4 届出対象行為と行為規制の方針

①「建築物の建築等」

「高さ」と「色彩」を、周囲の建物や自然と合わせる方針で検討

②「工作物の建設等」

発電用設備等の、自然景観を阻害し得る工作物の設置の規制を設ける方針で検討

③「開発行為」

周辺の自然環境への影響を最低限に抑え、開発行為を行う方針で検討

②「木竹の植栽又は伐採」

人工林と自然林それぞれにおける整備の明確な基準を設ける方針で検討

①「建築物の建築等」

②「工作物の建設等」

- ③「開発行為」
- ①「土地の開墾」
- ②「木竹の植栽又は伐採」
- ③「さんごの採取」
- ④「土石、廃棄物等の堆積」
- ⑤「水面の埋め立て等」
- ⑥「夜間の照明」
- ⑦「火入れ」

城山	建造物	建物は城山のスカイラインを邪魔しない高さに規制 目立たず、自然になじむ色に規制
	風力発電の風車の規制	城山等の山肌をそのまま残す 景観を損なわない程度の開発は可
	山際通	城山の緑を手入れし、守る 石垣が見えるような木の剪定
城下町地区	建造物	建物高さを昔の古い建物と同じ高さにする

加頭町	工作物	景観の悪化を抑制する 景観の悪化を抑制する 景観の悪化を抑制する 景観の悪化を抑制する	城下町地区	高さ・色彩の悪化イメージ 風力発電風車設置イメージ
-----	-----	--	-------	------------------------------



宇目地区	産業	産業廃棄物処理場 産業廃棄物処理場がある	農業	高齢化により水田が荒廃し 炭を備蓄するための木炭採取が盛ん	宇目地区	後継者が必要
------	----	-------------------------	----	----------------------------------	------	--------

浦江地区
宇目地区

4

2

る

5 市民による景観まちづくりへの取り組みの提案

「**維持管理**」「**まちづくり**」「**施設整備**」についての市民からの提案をまとめた

「樹木の定期的な剪定」など、**維持管理**についての提案が3地区共通で挙がった

→佐伯の景観づくりのために、適正な**維持管理**を行う

街エリア等、必要な場所については歩道や散策道等の**施設整備**を行う

浦・里エリアでは、現在ある資源を外部への**プロモーション**等によって活かし、**まちづくり**に取り組む

地区	景観	分類	意見	維持管理	まちづくり	施設整備	その他
城山	河川	河川	番匠川の護岸に昔の石垣を残してほしい				
		建築物	建物は城山のスカイラインを邪魔しない高さに規制 自立たず、自然になじむ色に規制				
		工作物	風力発電の風車の規制				
城下	山	建築物	歴史的建築物の空き家化への対策				
		建築物	石畳の傷みに対する整備や、通行者への配慮を考慮した整備				
		工作物	ゴミ箱は出来るだけ置かず、置く場合は周辺の景観に合うデザインにする				
浦江	浦江	建築物	浦江振興局跡地の活用(駐車場や公衆トイレを設ける) 浦や港の建物の色を統一(グレーや白)				
		建築物	浦江振興局跡地の活用(駐車場や公衆トイレを設ける)				
		工作物	浦江振興局跡地の活用(駐車場や公衆トイレを設ける)				
宇目	宇目	産業	産業廃棄物処理				
		農業	高齢化により水田				
		林業	炭を作るための杉				

城山から見る景観を守るため、木や登山道を整備

石垣が見えるような木の剪定

桜並木の手入れをする

石畳の傷みに対する整備や、通行者への配慮を考慮した整備

動線をつくるような道路整備を行うべき

菖蒲園付近の歩道を広げるべき

城下町地区

波当津海岸の清掃を現在以上に重点的に行う

湾にゴミや廃棄物を捨てないよう罰則等を設ける

愛宕山の桜並木の手入れ

深島の木が手入れされていないため定期的に剪定する

浦江地区

大規模な林道やお宮があるが整備が行き届いていおらず、登山者が迷ったり神社が朽ちていたりしている

さとやま公園内の樹木を剪定し、通行しやすくする

小野市集落を守るため、小掠酒造を再生したい
かみなかえ(すげ)集落の紅葉とイチヨウを多くの人に知ってほしい

高齢化により水田が荒廃し、農業で生活することが難しく、後継者が必要

宇目地区

高齢化により水田が荒廃し、農業で生活することが難しく、後継者が必要は保護する

6 総括

外来者・市民視点による景観構成要素の傾向

街・浦エリアでは人工物、里エリアでは自然物で構成される景観が象徴的に捉えられていた

また、浦・里エリアでは生業に関する景観構成要素で構成される景観が象徴的に捉えられていた

届出対象行為と行為規制の方針

「建築物の建築等」：高さや色彩の規制

「工作物の建設等」：発電用設備等の工作物の規制

「開発行為」：周辺環境への影響を最小限に抑える

「木竹の植栽又は伐採」：人工林と自然林それぞれに整備の基準を設ける

市民による景観まちづくりへの取り組みへの提案

- ・佐伯の景観まちづくりのため、樹木等の適正な維持管理
- ・必要な場所については歩道等の施設整備
- ・外部へのプロモーション等を通じて、現在ある資源を活かしたまちづくり